

## 「米大学日本校への進学指導について」

京都府立山城高等学校

桂 咲 雄

1. はじめに・・・「日本・海外で卒業したら国際人」になれるという紹介で海外の大学日本校が紹介されており、今回は特に米大学日本校を中心に分析をした。「もっと自由に、もっと個性的な大学生活を異文化の中で学びたい。英語を完璧に生活の中で活用できるようにしたい。世界を舞台に活躍したい。」などの生徒の志望動機である。様々な個性的なシステムを持った米大学日本校の進路問題について京都府における公立高校のアンケートと進路指導上の問題点・研修会での内容等を報告する。

## 「米大学日本校への進学指導について」 アンケート集計 1990.9.17.

上記のアンケートをお願いしましたところ、27校からご回答をいただきました。内容のまとめをおこない、研修会における参考資料にしたいと存じます。なお、2～5のアルファベットの同じものは、同一校のものです。

## 1. 御校では、どれぐらいの生徒が米大学日本校を受験しますか

|                      | 現 役  |      |      | 浪 人  |      |      |
|----------------------|------|------|------|------|------|------|
|                      | 受験人数 | 合格者数 | 進学者数 | 受験人数 | 合格者数 | 進学者数 |
| フィリップス大              | 24   | 22   | 18   | 21   | 14   | 11   |
| オクラホマ州立大             | 4    | 3    | 2    | 2    | 1    | 0    |
| テンプル大                | 1    | 1    | 1    |      |      |      |
| エドモンズ大               | 2    | 2    | 1    | 1    | 0    | 0    |
| 米国国際大                | 2    | 2    | 2    |      |      |      |
| ウエストフロリダ大            | 3    | 3    | 2    |      |      |      |
| フロリダ大                |      |      |      | 2    | 2    | 2    |
| ニューヨーク市立大            |      |      |      | 1    | 1    | 1    |
| 米国ナショナル大             |      |      |      | 1    | 1    | 1    |
| ライオグランデ大             |      |      |      | 1    | 1    | 1    |
| 南イリノイ大               | 1    | 1    | 0    |      |      |      |
| CICカナダ国際大            | 1    | 1    | 0    | 1    | 1    | 1    |
| インターナショナル・ビジネス・スクール校 | 1    | 1    | 1    |      |      |      |
| 計                    | 39   | 36   | 27   | 30   | 21   | 17   |

(1990年度入試分の集計です)

## 2. 御校からの受験者、進学者の特徴的な点をお尋ねください

- a. ある程度語学に対する関心はあるものの、大学・短大入試で合格できるだけの英語力は身につけていない。したがって、専門課程はもちろんのこと、集中課程においても進級できるかどうかの危機がある。保護者にしても国際性、留学体験等を過大に評価し、諸問題について十分な認識を持たない。

- b. 女子で英会話習得を、希望している生徒、又、アメリカの大学に行きたいが、渡米には安全面等で不安をもつ家庭の子供が進学を希望、他に、4年生大学進学希望であったがどこにも合格しなかったで日本校へというケースがあるが、いずれも数は少ない。今年の3年生の中にも1~2名の希望者がある。
- c. 普通では4年制大学に合格できないような学力の生徒が関心を示すが、現実には受験・進学した例はすくない。これは米大学日本校の英語を中心としたカリキュラムについていけないと考えるからであろう。
- d. 当初からの受験希望ではなく、第一志望校が不合格であったため2月以降あるいは卒業式以降に受験することが多く、実態を掌握することが困難な状況です。
- e. (1)男子であること。  
(2)4年生大学進学断念組であること。  
(3)予備校を嫌がること。  
(4)3.0~3.5程度の評定をもつこと。
- f. 純粋に語学習得を目的とする生徒と、日本の大学を希望しながら実力が達しないために逃げ道にする生徒の両極端に分かれている。
- g. \* できれば外大等への進学をと考えていた生徒が多い。  
\* 「米国」「留学」という言葉(イメージ)への憧れが強い。  
\* 学力は高くない(むしろ低い)
- h. 二人とも一般4年生大学を入学希望していた。推薦入学に出席したが、希望がかなえられず、止むを得ず米大学に入学した。本校では、2人とも、中位の成績であった。
- i. 安易な進学を考えている生徒
- j. ア. どちらかという英語の力が弱いので進学後苦勞があると心配される  
イ. 大学進学ができなかった生徒が受験している
- k. 短大の英文科の不合格者がフィリップス大に受験、合格
- l. 4年生をすべて失敗し、もう浪人できない生徒がうける
- m. テレビ等によるマスコミの宣伝をうけ、「日本校」を知り、受験もしくは、進路の一つと考えているようである。
- n. 大学・短大を志望していた者が、いわゆる「すべり止め」として進学した
- o. 「大学に受からなかった」という消極的希望である。
- x. 1. 志望校の受験に失敗  
2. 学力にいかないように指導しているが、それでもいく。(経済的な余裕がある場合が多い)  
3. II類の生徒も入学した。

### 3. どのような事柄に留意しながら進学指導をされていますか

- a. ①あくまで無認可校である。 ②日本国内では大卒資格を得られない。 ③②にともなう、国内での就職の問題。 ④日本の大学への編入資格、大学院への入学資格は認められない。単位互換の対象ともならない。 ⑤学費、渡航費、滞在費の問題。 ⑥生徒本人のレベル。 以上のような点に留意している。
- b. 学校を自分の目で確かめ、授業内容等もよく理解した上で受験するよう指導している。
- c. まだあまり情報が得られていないこともあり、積極的にすすめることはせず、4年制・短大を中心に指導している。安易な気持ちで受験することの絶対ないようにひきしめている。
- d. 大半が日本における大学として無認可のため、こちら側からの積極的な受験指導はしていません。特に留学制度、カリキュラム、卒業後の就職等について不明な点が多く、受験する生徒については、これらの点を再度確認するようにしています。
- e. 目的意識が明確でない限り進学しても途中で挫折が多いから薦められない。
- f. 日本での位置づけが不明瞭であること、相応な語学力を要すること、学費(留学費用を含む)が高いこと、卒業後の進路に不安な点が多いこと等ふまえながら、安易な気持ちでの進路選択にならないように指導している。
- g. \* 専・各扱い、あるいはそれ以下の扱いを国内では受ける。  
\* 留学、卒業は難しい(入学は簡単すぎるくらいだが……)
- h. 米大学では、英語力が充分でないと卒業出来ないとか授業がついていけないとの評判もあり、1年間の学費も、一般の大学、専門学校並に高いのでよく考えてアメリカの大学の在学生の状況などもきき、親ともよく相談して、十分・慎重に入学手続をするよう指導した。
- i. \* 無認可校であること  
\* トフルの試験に合格しなければ、米国大学に学び卒業できないこと  
\* 授業が難しく卒業できなく、中途退学者が多いこと  
\* 強い目的を持たないといけないこと
- j. ア. 英語の習得に相当の努力を要すること  
イ. 終了後米国の大学等へ進学することが望ましく日本校のみで終わることはもったいないこと
- k. 内容がよくわからないので、積極的な指導はしていない。個々に希望のある時のみ調査し指導することになっている。
- l. 現役ではほとんど受験しないので指導する機会がない。
- m. (1)日本の法律に基づく大学ではなく、ほとんどが私塾扱いである。  
(2)TOFEL で一定の得点がなければ、正式入学とはならない。  
(3)新しい学校で社会的な評価が定まっていない。  
(4)卒業後の進路(就職)について不安である。
- n. 留学生活、経済面、授業内容など生徒本人だけでなく、保護者も十分理解し納得するよう説明会へ保護者の参加も奨めた。
- o. 相談にくる生徒の学力を考えるととても勧められない。やめるよう指導している。
- p. 本人と家庭の考え方を尊重しながら指導にあたりますが実態を把握しかねているのが現状です

q. 充分な事前調査(校舎、校地の下地なども含め)をするように。

r. \* 大学卒の資格は取得できないから、就職に

ついては実力をつけることが大切

\* 生徒に対して積極的に指導はしていない。

s. 本人・保護者の希望を尊重

t. 特に行っていない

w. 生徒の申し出がないため、特に指導はしていない。今年度は、希望者があるようだが、情報不足のため指導が難しい。ある程度の英語力のない者には、薦められないといった程度

1. 学年部と連携を密にして、他の進路を勧めている。
2. まだ世間の評価を得ていないので、勧められない。
3. 卒業資格が簡単には得られないことを説明。
4. 株式会社で学校ではない。学生証ももらえない。
5. 何の資格も取ることができない。

4. これまで、進学者から持ち込まれた苦情等問題点があれば、お書き下さい

a. 施設・設備や教員内容についてかなり不満を持っている。後輩には勧められない旨、伝えている。

在籍指定が、特に苦情は聞いていない。

b. 現在本校卒業生が3名、フィリップス校に在籍

c. 進学者がすくなく特に有りません。

e. 前年度進学者調査では比較的意欲的に通学しているとのこと。

x. 何も連絡はないが、反対を押して行っている。ので問題があったとしても、学校には言いにくい立場がある。

### 5. まとめ

a. 「海外留学」が身近になり、米大学日本校の増加であり、選ぶべき学校の幅が広がったし、

b. 留学が身近になり、しっかり英語を勉強しTOEFLを受験し、一定のライン(半大学の基準500点以上要求)をこえて資格が与えられる。

c. 日本で準備教育が受けられる。入学後日本で英語力アップする。

### 6. 課題

a. 英語の強化授業

b. 米大学のあるアメリカでは、大学卒業として認められるが、日本では専修学校・高卒扱となる。

c. 米大学日本校選びの選択が大切であり、大学は英語教育でなく、専門教育を受ける場である。